

広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

7月号

No.231 (R8.7.15)



原爆死没者慰霊祭

開催日時 令和8年8月6日(木) 午前8時
開催場所 広島市東区二葉の里3丁目2番4号
広島県歯科医師会館北側 慰霊碑前

行事報告

令和8年度 後期高齢者歯科健診協力医および短期集中通所口腔ケアサービス協力医 研修会	1
三師会ゴルフコンペ	1
令和8年度 広島市学校保健会 第2回 理事会及び表彰審査委員会	2
第119回 定時総会	2
令和8年度 第2回 四者協議会	4

支部だより

中区支部	5
東区支部	6
南区支部	7
西区支部	7

ちょっとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について(総務部)	8
咬めるは命 ～高齢社会を支える歯科医療の力～(総務部)	9
江戸にオーラルフレイルを広めた観察者・貝原益軒(学術部)	10
広島市歯科医師会会員紹介(厚生部)	11
～ハハ姉妹の学校ニュース《39 時間目》「早寝・早起き・朝ごはん」～(地域歯科保健部)	12

会員ひろば

新入会員紹介	12
--------	----

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会より ～こんな医療トラブルが起っています～(総務部)	13
今月の知っておきたいこと(広報部)	14
YouTube(広報部)	16
FM ちゅーピー(広報部)	16
会長コラム 第119回 定時総会 会長挨拶	17
6月定例理事会報告	18
LINE 公式アカウント 友達募集	19



被災時や緊急時の会員安否確認のための
LINE 登録お願いします!!

現時点での登録者数 205/443 人 2026.7.7 現在



行事報告

令和8年度 後期高齢者歯科健診協力医および 短期集中通所口腔ケアサービス協力医 研修会

日時：5月28日(木)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」／Zoom

標記会が会場およびZoomのハイブリッド形式で開催された。

まず始めに、中川誠本会理事より、後期高齢者歯科健診の協力医となるための研修が行われた。対象者は前年度に75歳を迎えた方であり、受診券が届く8月頃から同年12月31日までが実施期間であることが説明された。

後期高齢者歯科健診では、通常の歯科健診に加えて口腔機能の評価を行う点が特徴であり、オーラルフレイルの早期発見と対策を担う重要な健診であることが解説された。また、よくあるトラブルとして健診当日の歯科治療の扱いが挙げられ、初診料・再診料の取り扱い、費用説明・同意取得の重要性などについて注意点が示された。

続いて、上向井咲良広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課歯科衛生士より、「短期集中通所口腔ケアサービスの手順について」と題し、同サービスに関する各様式の説明および事務手続きの流れが解説された。

最後に、中川本会理事より「短期集中通所口腔ケアサ

ービスの実践について」の説明があり、実際のサービス提供内容、書類の記載方法、説明資料の活用方法などが具体的に示された。併せて、一般社団法人広島市歯科医師会オフィシャルサイト内のメニューにある「協議会専用」からパスワード「welfare」を入力してアクセスできる「短期集中通所口腔ケアサービスについて」のページに掲載していることを説明し、積極的な活用をお願いした。(執筆者：中川誠)



研修会の様子

三師会対抗ゴルフコンペ

日時：5月31日(日)午前9時30分

場所：「賀茂カントリークラブ」

晴天の中、毎年恒例となっている広島市歯科医師会と広島市医師会、広島市薬剤師会の三師会と松井一寛広島市長との合同コンペが賀茂カントリークラブで行われた。ゴルフを通して、広島市における医歯薬連携並びに松井市長との交流を図る充実したゴルフコンペとなった。16名の参加で、優勝は國弘真己広島市医師会副会長、準優勝は瓜生賢本会会長だった。本会からは瓜生会長、熊谷宏顧問、能美和基副会長、若林大輔副会長、小島將督理事が参加した。(執筆者：小島將督)



ゴルフコンペの参加者

— 令和8年度 広島市学校保健会 第2回 理事会及び表彰審査委員会 —

日時：6月19日(金)午後7時15分

場所：大手町平和ビル 5階「ボランティア研修室」

標記会では山本匡広島市学校保健会会長の挨拶の後、来る7月30日開催予定の第66回広島市学校保健大会の詳細について事務局から説明があり、全体会および分科会の内容の確認が行われた。その他、令和10年に広島市で開催予定の第79回指定都市学校保健協議会の第1回実行委員会は本年10月頃を予定しており、実行委員会メンバーは理事会メンバーで構成予定であることが伝えられた。

表彰委員会では、今年度の学校保健功労者(歯科医1名)、永年勤務の学校医・学校歯科医(1名)・学校薬剤師、学校保健推進学校(5校)、学校保健研究物(7点)について、それぞれ該当者等の候補が示されいづれも承認された。

本会からは、瓜生賢会長、濱岡代枝理事、尾山奈々子

地域歯科保健部委員長が出席した。

なお、今年度の本会の受賞者は以下のとおりである。

学校保健功労者

森本慎樹氏(己斐上小学校)

永年勤務学校歯科医

大出和宏氏(楠那小学校)

(執筆者：尾山奈々子)



会議の様子

第119回 定時総会

日時：6月27日(土)午後3時

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

議長 香川次郎氏、副議長 野村登志夫氏

議事録署名者 中区 清水賢氏、東区 白神葉子氏

標記会が森本慎樹本会専務理事の開会の辞より始まった。まず令和7年4月1日以降に物故された会員の皆様(中区支部 鳴戸正文先生 新見通敏先生 光山武文先生 西区支部 長尾誠先生 南区支部 森本克廣先生)へ黙祷を捧げた。

その後、瓜生賢本会会長より挨拶があり(会長コラム参照)、次に山崎健次県歯会長より挨拶があった。

山崎会長は、広島市歯科医師会の会員に対し、日頃から県歯会の会務運営に対する理解と協力に謝意を述べた。

令和8年度も約3か月が経過し、県歯では6月6日の定時代議員会および13日の連盟評議員会において、令和7年度収支決算などの議案が承認されたことを報告した。その上で、本年度も冗費節減に努めながら、各室・各部や連盟等と連携し、会員にとって有用な事業を展開していく考えを示した。

また、終身会員規則の改定については、今後予測される会員数および会費収入の減少を踏まえ、将来にわたる

安定的な会務運営を目的として見直しを行ったことを説明するとともに、会費賦課額についても現行制度の見直しを検討していることへの理解を求めた。

令和8年度診療報酬改定では、物価高騰や医療従事者の賃上げへの対応が盛り込まれたことに触れ、スタッフ確保・定着のための「ベースアップ評価料」は届出手続きが簡素化されており、未届出の医療機関には積極的な活用を呼び掛けた。また、深刻な歯科技工士不足への対応として、「歯科技工所ベースアップ支援料」の届出についても、歯科技工所と連携しながら活用を検討してほしいと述べた。

さらに、県歯が導入しているスマートフォンアプリ「はっぽくんナビ」の安否確認機能について、大規模災害時の会員の安否確認や診療所等の被害状況の把握、災害対策本部での対応や歯科医療救護活動の体制整備に重要な役割を果たすことを説明し、継続的な訓練への参加とアプリの登録を呼び掛けた。

日本歯科医師連盟の活動については、2年後の参議院議員選挙に向けた組織代表候補者選考が進められており、現職参議院議員の山田宏氏と日本歯科医師会理事の近藤紀之氏の2名が立候補していることを紹介した。また、評議員会での出馬表明演説会の開催にも触れ、歯科医療政策の実現に向け、強い使命感と覚悟を持った候補者が選出されることに期待を示した。

最後に、会長就任6年目を迎えたことに触れ、「初心を忘れることなく、魅力ある歯科医師会づくりに向け、引き続き全力で会務に取り組んでいきたい」と決意を述べるとともに、広島市歯科医師会のさらなる発展と会員の活躍を祈念して挨拶を締めくくった。

続いて古稀会員(別木亮一氏、深井直樹氏、石嶋誠司氏、山田庸二氏、小島隆氏、中本雅志氏、和泉元昌代氏、石本勝三氏、松井一則氏、近藤令依氏、川原正昭氏)に祝辞ならびに記念品が贈られた。また、令和7年度に各種表彰を受けられた会員 厚生労働大臣表彰(歯科保健事業功労) 小島隆氏 石田栄作氏、広島県歯科保健文化賞 大出和宏氏、広島市長表彰(保健医療事業功労) 若林大輔氏、広島市政功労表彰(福祉増進功労) 荒川信介氏 熊谷宏氏、広島市学校保健功労者表彰 森本進氏 山本亮氏 田中尊治氏 伊達弘恵氏 水内裕之氏、広島県学校歯科医永年勤務者 及び 広島市永年勤務学校歯科医に対する感謝状 河原利哉氏 大坪宏氏、広島市保育園及び認定こども園保健功労者表彰 田中千香子氏、日本歯科医師会会長表彰 歌野原実氏、中国・四国地区歯科医師会連合会会長表彰 小谷博夫氏の紹介があった。

そして新入会員(中区支部 森宗こころ氏 柄優至氏 橋本佳樹氏 角伊三武氏 中島大輔氏、東区支部 植田淳二氏 神人友樹氏 上野大輔氏、南区支部 中本康弘氏 二反田淳春氏 山本一暁氏、西区支部 西村友里氏)の紹

介が行われた。

その後、先の理事会において予め選出された議長の中区支部 香川次郎氏(副議長は東区支部 野村登志夫氏)の会議宣告により、総正会員数443名、出席者50名、議決権行使者335名の合計 385名の会員の参加を得て開催された。議事録署名者に中区の清水賢氏と東区の白神葉子氏が指名された。

会務報告、各部事業報告、令和8年度事業計画及び収支予算報告を森本専務理事が行った。続けて選挙管理委員の委嘱について、退任される三宅茂樹氏、木村太言氏へ感謝の意を述べ、令和8年8月1日から2年間務める中区支部 森田行雄氏と仁野克明氏、東区支部 宮村健一氏、南区支部 大出和宏氏、西区支部 角田達彦氏の紹介があった。

その他の報告として、①救急蘇生委員会の現状と今後の動向②歯科医療安全相談の状況③災害や感染症・事故などの緊急事態が起きても業務を止めないための方針・体制・手順を定めた「事業(業務)継続計画」BCP(Business Continuity Plan)の更新⑤学校歯科健診歯鏡等の滅菌・配送事業について、⑥本会財政のあり方を検討・審議する為に発足予定の「会費賦課額等検討特別委員会」について各理事より報告があった。

その後、森本専務理事より第1号議案 令和7年度 貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)並びに財産目録の承認を求める件、第2号議案 令和8年度 本会会費賦課額並びに その徴収方法について承認を求める件について説明があり、可決承認された。

最後に能美和基副会長より閉会の辞があり第119回一般社団法人広島市歯科医師会定時総会は終了した。

(執筆：小島将督)



(左)挨拶をする瓜生賢会長 (右)定時総会の様子

令和8年度 第2回 四者協議会

日時：6月29日(月)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

7月30日(木)開催予定の第66回広島市学校保健大会併催の「よい歯の集い」におけるよい歯の学校・児童表彰者選考のため、広島市歯科医師会、広島市教育委員会、広島市立小学校校長会、広島市小学校教育研究会養

護部会の代表で構成する標記会議を開催し、以下のよう
に決定した。本会からは瓜生賢会長、能美和基副会長、
若林大輔副会長、森本慎樹専務理事、濱岡代枝理事が出
席した。

1. 児童表彰の部

(1) よい歯の健康大賞

総数 4,695 名 (内広島市歯科医師会としては 2,145 名)

(2) よい歯の賞

総数 3,062 名 (内広島市歯科医師会としては 1,347 名)

2. 学校表彰の部

優秀校	中島小学校(津田祐一先生)	牛田小学校(能美和基先生)
	広島特別支援学校(上田裕次先生)	古市小学校
	安西小学校	大林小学校
優良校	荒神町小学校(水内裕之先生)	毘沙門台小学校
	亀山南小学校	彩が丘小学校
努力校	基町小学校(上川克己先生)	神崎小学校(荒光泰生先生)
	井口明神小学校(楠橋由規先生)	大塚小学校
	倉掛小学校	可部南小学校
	五日市南小学校	湯来東小学校
	矢野小学校	

(下線は本会からの表彰校)

(執筆者：濱岡代枝)



(左)挨拶をする瓜生賢会長 (右)会議の様子

支部だより

中区支部

令和8年度 中区支部総会

日時：5月29日(金)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

有田一喜副支部長が議長を務め、開会の辞は波田佳範支部長が務めた。それから、物故者弔意があり、令和7年度にご逝去された鳴戸正文氏、新見通敏氏、光山武文氏への黙祷が捧げられた。

報告事項においては、波田支部長より令和7年度会員動向と事業報告が、吉岡英将会計担当役員より、令和7年度会計報告、石嶋誠司監事より監査報告が行われた。引き続き、協議事項へと移行し波田支部長より令和8年度事業(案)が、吉岡役員より令和8年度予算(案)が上程され、慎重審議の上可決承認された。

これを以て、令和8年度の事業と予算が動き出すこととなった。閉会の辞は、石嶋監事より行われ総会を滞りなく終えた。(執筆者：波田佳範)



総会の様子

令和8年度 広島市歯科医師会 健康ソフトボール大会連絡協議会

日時：6月8日(月)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

標記会の趣旨は、来る10月18日に尾道市の「御調ソフトボール球場」で行われる、県歯会主催の「健康ソフトボール大会」に向けて、練習日程から保険、バスの予算等にいたるまで、協議することを目的にしたものである。

議長は中区支部の波田佳範支部長が務め、各支部から選任された担当者と熱心に議論を交わした。それから、昨年度の練習や大会当日の時に挙がってきた問題点や、課題などへの対応が検討された。

特に重点課題として挙がってきたのが、各支部においてアクシデントなどにより、試合続行が難しくなった場合の広島市同士で選手のやりとりや、試合当日の悪天候への対応などが時間を割いて議論された。

なおこの会議には、中区支部より波田支部長 香川次郎

氏、南区支部より、伊藤良明副支部長 橋岡優氏、東区支部より新谷奈穂子支部長 岩井敏之前支部長、西区支部より山根悠氏、執行部よりオブザーバーとして、横村康彦厚生部理事が出席した。(執筆者：波田佳範)



会議の様子

第21回 吉島圏域多職種連携会議

日時：6月12日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

開会挨拶は、高橋浩一折口医院院長が行い、田丸卓弥田丸整形外科院長より主旨説明が行われた。

それから講演へと移行した。今回のテーマは「吉島のまちづくり～孫子老(まごころ)のまち吉島をつくろう～」で、その中に含まれている趣旨の内容は持続可能な地域コミュニティの実現であった。

講師には、丸山法子リエゾン地域福祉研究所代表、阿武将吾中市区民部地域起こし推進課主査、三浦浩吉島東学区孫子老のまちづくり協議会(エルモ吉島東)会長を迎えた。それぞれが、各テーマをもって、講演した。今回の会議の主題は小学校区で展開される『エルモ』についての講演であり、それぞれの講師が、それぞれの立場で発表された。

閉会は、細田民子中區厚生部地域支えあい課地域支援

担当課長より行われ、会議を終了した。

なおこの会議には、中區支部より波田佳範支部長、小松大造氏、辰本将哉氏、橋本佳子氏が出席した。

(執筆：波田佳範)



講師と参加者一同

東区支部

令和8年度 第1回 二葉圏域医療と介護・地域の多職種連携会議

日時：6月4日(木)午後1時30分

場所：東区総合福祉センター 3階「大会議室」

本年度の連携会議は「住み慣れた地域で暮らす」を共通テーマとしたシリーズ企画となっており、その第1回として、老人保健施設スカイバードの杉村暁生言語聴覚士による講義が行われた。

「言語聴覚士の専門性と『住み慣れた地域で健康に暮らす』ための提言」と題された講義では、専門的な知見から地域住民の自立した生活を支えるための具体的な提言がなされた。特に摂食嚥下機能の維持やコミュニケーション支援といった内容は、歯科医師が担う口腔ケアとも密接に関連する重要なテーマである。講義後に行われたグループワークでは、医師、看護師、ケアマネジャー、福祉関係者といった多職種と活発な意見交換が行われ、顔の見える関係性が一層深まった。

昨年度の第3回会議では「地域におけるグリーフケア」をテーマに精神面での支援について学んだが、今年度はより日々の生活に根ざした「地域での暮らし」に焦点が当

てられている。今後もこのシリーズを通じて他職種の専門性への理解を深め、歯科の立場から住み慣れた地域での生活を支えるネットワークの構築に寄与していく所存である。本会議には、前島真紀子氏、丸川雅弘氏が出席した。(執筆：丸川雅弘)



会議の様子

南区支部

広島市南区厚生部地域支えあい課 育児講座

日時：6月15日(月)午後1時30分

場所：南区役所別館 3階 常設オープンスペース「キッズひろばみなみ」

標記教室が開催され、林内優樹地域歯科保健部委員が「0歳から始める虫歯予防」と題して、南区地域の乳幼児の保護者5名(現地4組、オンライン1組)に対し講演を行った。

まず、子供の口の中の状態や口の働きについて説明を行った。次に乳歯におけるう蝕の特徴や全身への影響、う蝕の原因を話し、細菌・糖質・歯質・食事時間・間食の与え方それぞれに対して対策や予防方法などをイラストや写真を用いて説明した。その後、歯磨きを開始する時期や月齢に合った歯ブラシ・歯磨剤の選択が重要であることを説明し、仕上げ磨きの必要性も伝えた。

その後は、卒乳(離乳)の進め方についても説明を行い、「かかりつけ歯科医」を持つことの重要性を伝えて講演を終了した。

講演終了後には、「歯医者さんデビューはいつ頃がいいですか?」「口が開いていることが多いのですが、どうしたらいいですか?」など様々な質問を頂いた。また、「育

児中はなかなか歯医者に行けてないけど、子供の周りの大人も口の中をきれいにすることが大事なんですね」などの声もあった。

本会では、今後も育児講座などを通じて口腔機能の重要性を周知し、健康寿命の延伸に繋がる活動を行っていく所存である。(執筆者：林内優樹)



講座の様子

西区支部

令和8年 広島市西区地域保健対策協議会 第1回 常任理事会・第1回 理事会合同会

日時：6月12日(金)午後7時15分

場所：西区地域福祉センター 3階「大会議室」

標記会が、新田哲也広島市西区医師会理事の司会の下開催された。隅田伸二広島市西区医師会会長による開会挨拶の後、報告並びに協議が行われた。

報告事項としては、要介護認定結果報告、かかりつけ医推進事業状況報告があった。協議事項としては、役員改選について、かかりつけ医推進委員会委員・医療相談事業・相談委員改選について、西区地域保健対策協議会規約改

正について、令和7年度収支決算について、かかりつけ医ポスターについて協議を行った。

最後に、落久保裕之西区医師会副会長の閉会の辞により終了となった。

なお、本会より大坪宏西区支部長、濱岡代枝氏が出席した。(執筆者：濱岡代枝)

西区地域保健対策協議会主催 西区子どもの健康講座「子どもの歯のケアについて」

日時：6月24日(水)午後1時30分

場所：西区地域福祉センター 4階「にしくニコニコ広場」

西区地域保健対策協議会主催で、0～2歳までの子どもをもつ保護者を対象とした標記会が開催され、「子どもの

歯のケアについて」と題し、濱岡代枝理事が講演を行った。

講演では、まず時間も加えたカイスの輪を示し、虫歯の

発生のメカニズムとそれに対する対策について解説した。続いて、家での子どもの歯のケアとして、ガーゼぬぐいや歯みがきの方法や体勢、フッ素ジェルの使用やうがいができるようになったらフッ素入り歯磨剤の使用、奥歯が生えてきたらフロスの使用といった実践的な説明を行った。

対象が 0～2 歳ということで、歯みがきを嫌がらない子にするための準備期間ととらえるように伝えた。また、家での子どものケアも大切だが、おうちの方が口腔内を整えたいうえで接することで虫歯菌の感染機会をなるべく少なくし、間食に与える食品選びに気を付けて、規則正しい食生活を身に付けさせることの重要性を伝えた。そして、歯科医

院での定期的なフッ素塗布を始めて欲しい時期なので、かかりつけの歯科医院を見つけ、定期的に受診するように伝えた。

最近のトピックスとして、小児でお口がポカンとあいている場合、口腔機能発達不全症の一つとされており、症状の改善には低年齢からの指導が有効であると伝えた。症例によっては耳鼻科的な問題がある場合もあるが、対応してくれる歯科医院も増えてきているのでぜひ相談してみたいと紹介した。

広島市歯科医師会は今後も地域住民との関わりをもち、お口の健康に関わる啓発活動を行っていきたいと考えている。(執筆者：濱岡代枝)

西区支部例会

日時：6 月 18 日(木)午後 7 時 30 分

場所：「木松旅館」

標記会が大坪宏支部長の挨拶にて開催された。

西区支部の令和 7 年度の決算報告がされ、監事である角田達彦氏により承認された。

2026 年 5 月に開院した、西村友里氏の挨拶があり拍手で向かえ入れられた。

天間裕文県歯会医療管理部常任理事より歯科にまつわる医療管理の最新の事態について講義があった。ヒヤリ・ハットの事例、もし医療事故が起きてしまった場合どう対処すればいいか、またウェブサイトの広告の注意点、また近年増加している詐欺サイトへの誘導の注意喚起など、わかっているつもりだがアップデートされた内容も多く、新しい知識や気づきを得ることができて、気が引き

締まる思いで明日からの診療へつなげていけるような講義であった。講義後は多くの質問が飛び交い、その後閉会した。(執筆者：堀健太郎)



支部例会の様子

ちょっとイイ話

総務部



耳寄り情報

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。

・「8の周囲炎に対して P 急発の病名でレセプト記載がされているものがありました。カルテと整合性がある病名を付けていただくようお願いします。



大井手和久理事

咬めるは命 ～高齢社会を支える歯科医療の力～

6月13～14日に東京で開催された日本顎咬合学会で素晴らしい講演を聴けたのでご報告します。

日本顎咬合学会のセッション「高齢社会に生きる」では、超高齢社会における歯科医療の役割について多くの示唆を得ることができました。

日本は世界でも類を見ない速度で高齢化が進んだ国です。現在、多くの国々が直面している高齢者人口の割合は、日本が20～30年前に経験した状況に相当するといわれています。つまり日本は、世界に先駆けて超高齢社会を経験する「高齢社会のフロントランナー」と言えます。

今回の講演では、その最前線で歯科医療が果たす役割が紹介されました。秋山弘子氏(高齢社会総合研究機構客員教授)は、高齢社会における医療のあり方について俯瞰的な視点から解説され、単に寿命を延ばすだけでなく、いかに生活の質を維持するかが重要であることを示されました。

その後、歯科医師の藤井元宏氏は、「噛める義歯が生活を変える」というテーマで講演されました。その中で紹介された症例では、認知症の進行により食事摂取も困難となり、表情も乏しくなっていた患者が、適切な義歯治療によって再び食事を楽しめるようになり、生き生きとした表情を取り戻していく姿が示されました。

歯科治療によって咀嚼機能が回復することは、単に食べられるようになるだけではなく、人との会話が増え、外出の機会が増え、生活そのものに活力が戻る、その姿はまさに「咬めること」が人の人生を支えていることを実感させるものでした。また、歯科衛生士の藤井みずき氏は、高齢者医療における多職種連携の重要性について講演されました。

歯科だけで完結するのではなく、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護職などと連携しながら、高齢者の口腔機能や摂食嚥下機能の改善に取り組む実践例が紹介されました。その中で、歯科衛生士が各職種をつなぐコーディネーターとして機能し、リハビリテーションの中心的役割を担う姿は非常に印象的でした。

さらに、台湾から参加された歯科医師の鄭鎬祥氏は、総義歯リマウント調整法について講演されました。

鄭氏は日本で総義歯治療を学び、その技術を日本人歯科医師と共に台湾のみならず東南アジア各国へ広め、日本で発展した総義歯リマウント調整法によって、多くの高齢者が再び「咬める喜び」を取り戻していることが紹介されました。

日本で培われた技術が国境を越え、多くの高齢者の健康と尊厳を支えている事実は、大きな誇りであると感じました。今後の超高齢社会において、歯科医療の役割はますます大きくなっていると改めて実感しました。

私たちが提供するの単なる歯科治療ではなく、患者が最後まで自分の口で食べ、会話し、笑い、生きがいを持って暮らすための支援です。

そして、今回の講演を通じて改めて感じたのは、「咬めるは命」という言葉の重みでした。

日本の先人が紡いできた歯科医療の知識と技術は、これから高齢社会を迎える世界にとって重要な財産であると共に明日からの診療への誇りと確信、そして咬合を付与することの重要性を感じさせてもらえた講演でした。



延本全彦委員長

江戸にオーラルフレイルを広めた観察者・貝原益軒

最終回である今回は、彼が口の清潔にこだわった理由についてお話しします。益軒が83歳まで自前の歯を保ち続けた理由、それは彼が「口は単なる独立した器官ではない」と深く認識していたからに他なりません。益軒は、口腔を内臓、特に消化器である「脾胃(ひい)」の状態を映し出す鏡であると説きました。

『内臓に過度な負担がかかり熱を持てば、それが口内の炎症や歯肉の腫れとして現れる』

益軒は、健康の根幹を「胃腸を労わること」に置きました。そして、胃腸を助けるための唯一にして最大の手段こそが「よく噛むこと」でした。彼は一口ごとに細かく咀嚼すること、口の中を清潔に保つことを推奨しました。それが五臓を安んじ、寿命を延ばすと説いています。現代の私たちが、歯周病と糖尿病などの全身疾患との相関を診る視点にとっても良く似ています。彼は当時の学問と日頃の観察から、口の健康を守ることが全身の和を整えることに繋がると考えて、自らの身を持って実践し、養生訓として世に広めたのです。

さて、ここで今までの復習を行います。私の過去の執筆の話も少し加えてみます。平賀源内を題材として取りあげた時に、こんなテーマをお話ししました。江戸のコピーライター達の活躍「引札」という広告手段が始まったのは、1671年から1683年あたりでした。平賀源内が、不況を嘆く「うなぎ屋」に「土用の丑の日」という繁栄の知恵を授けたのは1759年頃のことです。当時の日本人は世界屈指の識字率を誇り、情報を享受する高い土壌があったから宣伝に意味が生まれました。そして、筑前福岡藩の儒学者、貝原益軒が79歳で著した『養生訓』は1708年でした。貝原益軒の『養生訓』が、将軍から庶民まで広く読まれていたという話、ロングセラーとなったという話は、大げさではありません。

もちろん、『昔の日本人は平均寿命が短く、養生など二の次だったのではないか?』という疑問を抱かれる方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、当時の平均寿命を押し下げているのは乳幼児の死亡率であり、成人以降の平均余命は現代とさほど変わりません。長く、健やかに人生を全うしたいと願う人々にとって、益軒の知恵はまさに『切実なニーズ』に応える知の宝庫だったのです。

ですから、『貝原益軒は300年前にオーラルフレイルの概念を説いていた』と言い換えても過言ではないと私は考えています。

【参考文献】

『図解 養生訓』 齋藤 孝(ウェッジ)

『養生訓』 貝原 益軒 / 松田 道雄 訳 (中公文庫)



小早川尚史委員長

広島市歯科医師会 Instagram、Facebook、YouTube、
に投稿しておりますので、是非ご覧ください！！



広島市歯科医師会会員紹介

厚生部では会員の相互の認識を深めるべく、新入会員の先生を中心にインタビューを行い、その内容を記事にまとめていただいております。今回も新入会員の先生をインタビューさせていただきました。それでは、橋本佳樹先生お願い致します。

Q1. まずは先生の自己紹介をお願いします。

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました、橋本佳樹(はしもと よしき)と申します。

出身は広島市中区舟入で、広島修道中学・高校を卒業後、愛知学院大学へ進学しました。

中学・高校では主にワンダーフォーゲル班、大学では陸上競技部に所属しておりました。卒業後は広島大学病院での臨床研修医を経て、中区で開業しております父のもと「はしもと歯科医院」に勤務しております。

この8月に、承継を行う予定です。父とともに引き続き、地域の皆様に歯科医療を通じて貢献してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Q2. 先生が歯科医師を目指したきっかけを教えてください。

偶然、道端でおばあちゃん達が、「この先生は優しくてねえ」とお話ししているのを聞いて、地域の方にそう思っただけなのであれば、自分が継ぐことで、地域に貢献できる医院を長く続けていこうと思い、歯科医師を目指すようになりました。

Q3. 子供の頃、歯科医師以外でなりたい職業はありましたか？理由もあれば一緒に教えてください。

子供の頃から読書が好きでした。ゲームなどの小説版から始まり、歴史小説を多く読んでおりましたので、漠然と本に関わる仕事ができたかなと思っていました。

Q4. 先生の仕事の息抜きとはなんでしょう？

3歳と7か月の子供がおりますので、診療の合間に子供の写真をよく見えています。



お子さんと橋本佳樹氏

Q5. 歯科医師会に入って良かったこと。歯科医師会でやってみたい事があればお願いします。

まだ入会して間もなく、分からないことなど多くありますが、地域に貢献できるよう学校健診などの活動に従事していければと考えております。

Q6. 最後に 30年後(もしくは70歳)の自分にメッセージをお願いします。

体を大事に過ごせましたか？旅行好きな奥さんといろいろな場所に行けているでしょうか？

60歳を過ぎ、クルーズ船に乗るような旅ができていたらいいですね。でも、それまでに世界のディズニーを制覇する約束がありますから、それは大丈夫でしたか？

元気なうちに、たくさん旅行していればよかったと思うことが無いよう、今から機会を作って旅行に行くので、30年後もたくさん旅行に行ってくださいね。

橋本先生ありがとうございました。



インタビュアー：八谷文貴委員

～厚生部からのお知らせ～

厚生部では今後も会員の先生の紹介記事作成や、先生方の福利厚生を充実していけるような企画運営を行なっていく予定です。先生方におかれましては厚生部の活動にご協力いただき、企画には奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

～ハハ姉妹の学校ニュース《39 時間目》「早寝・早起き・朝ごはん」～



デジタル版《39時間目》
広島市歯科医師会「ハハ姉妹」

早寝・早起き・朝ごはん

早寝をしよう

早く寝ると1日の疲れがしっかりとれ、早起きもしやすくなり、生活のリズムが整います。遅くまでゲームやスマホをしていると目が冴えて寝つきが悪くなり、睡眠不足になります。寝る1時間前にはやめましょう。

夜おそくまで起きていると・・・

- ・体と心の成長をさまたげる
- ・お腹がすいて間食をしたり、歯みがきをせずに寝てしまう機会が増えむし歯が心配

早起きをしよう

早く起きて太陽の光を浴びることで体内時計を整えることができます。時間に余裕ができ、おだやかな気持ちで1日をスタートできます。

早起きをすると・・・

- ・ゆっくり朝ごはんを食べられる
- ・歯みがきやトイレの時間をつくれる

朝ごはんをしっかり食べよう

朝ごはんをしっかり噛んで食べると体や頭がスッキリして目が覚めます。やる気が出て授業に集中できます。

朝ごはんを食べると・・・

- ・成績が良くなることが研究でわかっています。ご飯やパンだけではなくおかずをしっかり食べることが頭の働きには大切です



歯医者さんからのメッセージ

「早寝早起き朝ごはん」は、子供の生活リズムの向上を図っていくために、文部科学省と早寝早起き朝ごはん全国協議会が連携して推進している国民運動の一つです。朝ごはんを食べた後はしっかり歯磨きをしてスッキリしたお口で学校へ！そして、8020の達成を目指しましょう。



8020

80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう

岡崎文彦先生

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変してください。

※今回は地域歯科保健部 岡崎文彦氏 他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDF は下記 URL または QR コードよりダウンロードしてください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



会員ひろば

新入会員紹介



中島大輔

この度、Studio Dental 新白島院の開院に伴い、広島市歯科医師会へ入会いたしました、中島大輔と申します。

私は福岡歯科大学卒業後、山口大学医学部附属病院歯科口腔外科をはじめ、総合医療センターなどで研鑽を積み、口腔外科分野を軸に幅広い診療に携わってまいりました。その中で強く感じたのは、治療技術だけでなく、患者さんとの信頼関係や、多職種との連携が良い医療には欠かせないということです。

白島は、幼少期から学生時代まで過ごした思い出深い地域です。地域の皆様に安心して通っていただける歯科医院をつくりたいという思いから、この地で開院いたしました。当院では、一般歯科から口腔外科まで幅広く対応し、安全性を第一に、一人ひとりの生活背景にも配慮した診療を心掛けています。また、予防や健康づくりも含め、お口を通して地域の健康に貢献できる存在でありたいと考えています。

これから広島市歯科医師会の先生方との交流を通じて学びを深め、地域歯科医療の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



山本一暁

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました山本一暁と申します。

令和8年6月に、広島市南区段原にて「段原エール歯科・矯正歯科」を開院いたしました。

私は、広島大学を卒業後、神戸市内の歯科医院に勤務し、一般歯科診療を中心に幅広い年齢層の患者さんの診療に携わってまいりました。日々の診療を通して、患者さん一人一人のお話をよく伺い、安心して治療を受けていただける環境づくりの大切さを学んでまいりました。

このたび地元である広島の地で開業するにあたり、地域の皆さまのお口の健康を支える一助となるよう、誠実に診療に取り組んでいきたいと考えております。まだまだ未熟な点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、諸先生方のご指導を賜りながら、少しずつ成長していければと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より ―こんな医療トラブルが起こっています―

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：治療後の返金について

保険診療で補綴物を変更した後、短期間に脱離を繰り返したため、転院を検討している。治療費の返還が可能か確認したい。

(センターの対応)

保険診療は診療行為に対して費用が発生する仕組みであるため、治療結果にかかわらず原則として返還は困難であることを説明し、他の相談先を案内した。

(コメント)

補綴物の特性や耐久性、起こり得るリスクについては、治療前に十分説明し、理解を得ておくことが望ましいでしょう。

事例2：治療法について

保険の総義歯を使用しているが、破折や疼痛などの不具合が繰り返し生じている。自由診療の金属床義歯を勧められたものの、費用面から保険診療を希望しており、対応に悩んでいる。

(センターの対応)

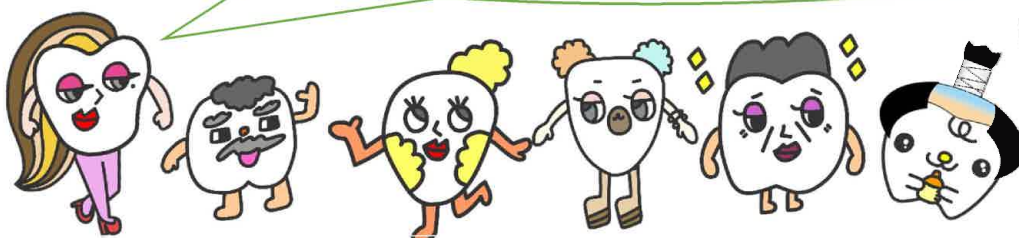
現時点では自費治療を受ける意向がないことを踏まえ、保険診療の範囲内で医療機関と相談するよう助言した。また、制度上の制約があることや、転院も選択肢となることを説明した。

(コメント)

総義歯治療においては、保険診療の制限や材料・構造上の特性について、治療方針を決定する段階で十分に共有しておくことが重要でしょう。



公式スタンプよろしくお願いします！



買ってちょんまげ

スタンプの利用は市民の皆様への歯科分野啓発の一環としてお考えいただけたら幸いです💖

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。)リンク切れはご容赦願います。)

【速報】6月導入の予約キャンセル料、「選定療養」へ文言訂正の事務連絡 厚生労働省

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/4272>

厚生労働省は6月1日より適用される診療報酬改定関連通知の一部訂正を事務連絡として発出した。



この中で、歯科でも関心の高かった「予約に基づく診察のキャンセル料」の表記について重要な訂正が行われ、「選定療養における予約に基づく診察」である旨が明文化された。

従来のお知らせでは、多くの医療機関で保険診療の予約に対しても自由にキャンセル料を徴収できるとの解釈が広がっていた。

しかし今回、文言が「選定療養における予約に基づく診察の患者都合によるキャンセル料」に訂正されたことで、キャンセル料を徴収できる対象が限定されることが明確になった。つまり、通常の保険診療の予約ではなく、選定療養(保険外併用療養費)の「予約診察」としてあらかじめ料金を設定し、地方厚生局へ届け出ている場合に限り、患者都合によるキャンセル料を徴収できるという整理である。

歯科医院がキャンセル料を設定するためには、①選定療養としての予約料を届け出ていること、②患者への事前説明と文書による同意を得ていること、③院内掲示およびホームページへの掲載を行っていること、の3つの条件が必要となる。

今回の訂正により、「届出なしでもキャンセル料を請求できる」と考えていた医療機関には混乱が生じる可能性がある。歯科医院においても、自院の予約制度が選定療養の要件を満たしているかを再確認し、必要に応じて院内ルールやホームページの内容を見直すことが求められる。

考察

無断キャンセルや直前キャンセルは他の患者さんの受診機会を失わせ、医院経営にも損失を与えます。今回の厚労省の通知を当初キャンセル対策として期待した医療機関も少なくなかったと思います。

しかし、一方で、今回の通知はキャンセル料の徴収そのものを目的とするのではなく、患者さんとの適切な契約関係や事前説明の重要性を再認識する機会になったと感じます。歯科医院としては、キャンセル料の導入を検討するだけでなく、予約の意義を丁寧に説明し、リマインド連絡の活用や信頼関係の構築を通じて、無断キャンセルの予防に取り組むことが重要ではないでしょうか。限られた診療時間を有効に活用し、必要な患者さんへ適切な医療を提供するための仕組みづくりが求められていると考えます。



佃文蔵委員

【令和8年度最新】CAD/CAM冠に関する基本的な考え方 日本歯科医学会

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/4229>

日本歯科医学会は令和8年3月、CAD/CAM冠に関する基本的な考え方を発表した。



今回の指針では、令和8年度診療報酬改定の内容を含め、CAD/CAM冠やPEEK冠、およびエンドクラウンの適応症と臨床術式が解説されている。

令和8年度6月の改定により、大臼歯部への適応が大きく変更された。

従来、最後臼歯等への適用は慎重な検討が必要とされてきたが、装着部位によるトラブル発生率に差がないと

の報告を受け、CAD/CAM冠用材料(III)を使用する場合、すべての大臼歯への応用が可能となった。

なお、推奨できない症例や除外診断のポイントは、以下のように示された。

- ・咬合面クリアランスが確保できない臼歯部
- ・過小な歯冠高径、あるいは顕著な咬耗(ブラキシズム)がある症例
- ・エンドクラウンにおいて、フィニッシュラインが縁下に設定される場合や、辺縁幅2.0mm以上を確保できない場合

考察

CAD/CAM冠用材料(III)を使用する場合、すべての大臼歯への応用が可能となった点が今回の改訂の大きな変更点となります。適応が拡大されたからこそ、改めてCAD/CAM冠の管理は、適切な症例選択と、各材料の特

性に応じた精密な形成・接着操作が、補綴装置の予後を左右する鍵となることを肝に銘じておく必要があると感じました。



浅野真弥委員

歯周炎治療後も口腔内細菌叢に“炎症の履歴”が残存

<https://www.isct.ac.jp/ja/news/8gblwunu57vd>

東京科学大学医歯学総合研究科歯周病学分野の小林龍太医員、芝多佳彦講師、岩田隆紀教授、生涯口腔保健衛生学分野の竹内康雄教授らの研究チームは、歯周炎患者の前歯部歯肉縁下プラークを対象に、非外科的歯周治療の前後でメタトランスクリプトーム解析を行い、細菌叢の構造と機能の変化を包括的に解析した。



その結果、歯周治療後、臨床的に治癒した歯周炎部位であっても、歯周炎に関連する嫌気性菌を含む細菌ネットワークが残存しており、歯周炎の既往のない健常部位とは異なる細菌学的状態にあることが明らかとなった。すなわち、歯周炎は治療によって見かけ上は改善しても、細菌学的にはその「履歴」が残る可能性が示された。さらに、治癒した群では *Neisseria elongata* や *Rothia aeria* といった細菌らの関与が示唆され、未治癒群では

グリシン分解や細菌接着に関連する機能遺伝子の増加が認められた。

本成果は、2026年4月11日(現地時間)に「ISME Communications」誌に掲載された。

考察

本研究は、歯周治療後に臨床的には治癒したように見える部位でも、細菌ネットワークには歯周炎の「履歴」が残る可能性を示しており、歯周炎治療後における定期的なメンテナンスの重要性を支持するものであると考えます。また、治癒群と未治癒群の間で異なる細菌や機能遺伝子の候補が示されたことで、将来的には、治療後の再発リスク評価や、治癒しやすさを予測する診断法の開発につながる可能性があると考えます。



森宗こころ委員

口臭、夏こそ要注意～冷房でドライマウスに～

<https://medical.jiji.com/topics/4344>

汗ばむ季節に悩ましいのが臭いだ。夏は冷房によってドライマウスが起こり、口臭もきつくなりやすい。ドライマウスは50代以上の女性によく見られる。口臭予防で大事なものは、小まめな水分補給などで口の渇きを防ぐことと、歯垢(プラーク)をしっかり落とすことだという。



ドライマウスは唾液の分泌量が低下し、口の中が乾燥する病気。原因は口呼吸、乾燥、加齢、ストレスなどと、アジュテ前島デンタルクリニック(東京都千代田区)院長の前島美佳氏は説明する。

国内では潜在的なドライマウスの患者は3000万人とも言われる。前島氏によると、患者の9割以上は女性で、さらに、そのうち9割が50代以上だという。それは、更年期による女性ホルモンのエストロゲンの減少と、それに伴う自律神経の乱れが大きな要因。

もしも、①口の中の乾燥感②口の中がネバネバして不快③食べ物が飲み込みにくい④舌や粘膜に痛みを感じる⑤口臭が気になる⑥食べ物の味が分かりにくい⑦口内炎や口角炎がよくできる⑧よく口で呼吸している一といっ

た症状が見られたら、ドライマウスかもしれないとのこと。

考察

我々歯科医師にとって重要なのはドライマウスの早期発見と考えます。

唾液減少により口臭が気になってくるだけではなく、むし歯や歯周病が増え、さらに口腔機能の低下にもつながります。そのため、口臭を単なるエチケットの問題として捉えるのではなく、口腔内の健康状態を示すサインとして患者側に提示することが重要です。

また、一般の人々は口臭には関心を持ちやすいため、口臭予防をきっかけに、唾液の大切さやプラークコントロール、定期受診の必要性を伝える良い機会となると思われます。

特に高齢者や更年期以降の女性では口腔乾燥のリスクが高いため、日常診療の中で口腔乾燥の有無を確認し、早期から予防的に介入していくことが重要です。



小林裕子副委員長

【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。



5月6日放送分

「保険診療と自費診療の違い」 光山素夫氏

<https://x.gd/bc5Vj>



5月20日放送分

「飲み込む運動はとても大切」 有田竜二氏

<https://x.gd/Fidrx>



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」今だけこだけキューアップ 第1・3水曜日午前9時30分から

7月1日放送分

お食い初めについて

八谷文貴氏

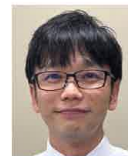


お食い初めはわが子の健やかな成長を願う行事の一つで、これには地方による違いがあります。また世界でも子どもの健やかな成長を願う行事があります。今回は、子どもにまつわる行事について紹介します。

7月15日放送分

デジタル技術と職人技が調和

河村道彦氏



歯科医療は今、大きく進化しています。口腔(こうくう)内スキャナーやCAD/CAM(コンピューター支援による設計・製造)、3Dプリンターの活用により、より快適で精密な治療が可能になりました。しかし、機械だけでは良い歯はつくれません。歯科技工士と歯科医師の技術が加わることで、一人一人に合った質の高い歯科医療が実現します。デジタル技術と職人の技が調和することで、より安心して信頼できる治療へとつながります。



今月の会長コラムは、先日行われました第 119 回定時総会での会長挨拶の要約をもって代えさせていただきます。

第 119 回 定時総会 会長挨拶

令和 8 年 6 月 27 日

本日は、広島市歯科医師会第 119 回定時総会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。

さて、令和 8 年度を一言で申し上げるならば、「組織基盤の再構築の年」と位置づけております。本会がこれからも地域歯科医療の中核として持続的に発展し、広島市民の健康を守り続けるために、将来に向けて今まさに足元を固める時期にきていると強く感じております。

後ほど詳しくご説明いたしますが、まず会員種別および会費賦課額の見直しに着手したいと考えております。本会の会費は、個人情報保護法施行にともない、平成 18 年に応能割会費の徴収ができなくなったことを機に現在の体系に変更されて以来、約 20 年が経過致しました。平成 18 年時点では、応能割の廃止により会費は上がった人、下がった人さまざまで、全体的には値上げをしたわけではございませんでした。したがって、本会の会費は正確には遡れないくらい以前から据え置かれたままとなっております。しかし、社会経済情勢が大きく変化し、諸物価が高騰するなか、このままでは本会の事業規模を維持することはできません。長期的に見ると会員数の減少、終身会員比率の増加による会費収入の減少が避けられないという現実、正面から向き合わなければなりません。医院を閉院し、引退後も最期まで安心して会員でいていただける、そのような柔軟で公平な制度を目指し、今年度は特別委員会を設置し、次年度総会で青写真をお示しできるよう、検討を進めてまいりたいと思います。

また、長年にわたり先生方の診療をバックアップしてまいりました救急蘇生委員会についても、スクラップ＆ビルドを行いたいと思います。広島大学歯学部歯科麻酔科のご協力のもと活動してきた現委員会は、昭和 58 年に設置されて以来、これまでその使命を着実に果たしてきたと考えてございます。しかしながら、ここ数年は出勤実績も低調であることなどから、現委員会を一旦廃止し、広島大学および広島市消防局との新たな連携体制のもと、会員が安心して診療に臨め、市民の皆様が安全に歯科医療を受けられる体制へと、発展的に刷新していく方針について、現委員全員の賛同を得て一旦解散とし、新たに「救急事案対応検討委員会」を起ち上げ、今後も会員の先生方の安全な診療をバックアップしていくことといたしました。

そのほか、地域包括ケアシステムへの積極的な参画、口腔健康管理を通じた健康増進、さらには会員の先生方の生涯学習に資する学術講演会の充実等、引き続き力を注いでまいります。

歯科医師が地域で果たすべき役割は、年々広がっております。だからこそ、我々広島市歯科医師会がしっかりと足腰を持ち、会員の皆様お一人お一人が、本会事業に積極的に参画していただける環境を整えることが、執行部の責務であると考えてございます。

結びに先生方の会務へのご理解とご支援をお願い申し上げ、開会のご挨拶といたします。

会長コラム (第 37 回) 第 119 回 定時総会 会長挨拶

瓜生 賢

6 月定例理事会報告

「部外報告」

5 月 2 9 日 【Web】広島市連合地区地域保健対策協議会令和 8 年度第 1 回理事会
 5 月 3 0 日 歯科医師協同組合総代会
 5 月 3 1 日 三師会対抗ゴルフコンペ
 6 月 4 日 社会保険診療報酬支払基金再審査(県歯)理事会
 ”
 6 月 6 日 第 159 回広島県歯科医師会定時代議員会
 6 月 1 1 日 広島市との協議
 ” 全国国民健康保険組合協会総会懇親会
 6 月 1 7 日 第 116 回日本学校歯科医会定時代議員会
 6 月 1 8 日 広島県国保連合会歯科再審査部会
 6 月 1 8 ー 第 208 回日本歯科医師会定時代議員会
 1 9 日
 6 月 1 9 日 広島市学校保健会第 2 回理事会及び表彰審査委員会
 6 月 1 9 ー 広島県国保連合会歯科審査部会
 2 3 日
 6 月 2 0 ー 社会保険診療報酬支払基金審査
 2 5 日
 6 月 2 4 日 国保組合理事会

(連盟関係)

6 月 1 日 広島県歯科医師連盟四役会
 6 月 1 3 日 広島県歯科医師連盟理事会
 ” 広島県歯科医師連盟評議員会
 ” デンタルミーティング

「総務関係」

5 月 2 8 日 【ハイブリッド】令和 8 年度後期高齢者歯科健診協力医および短期集中通所口腔ケアサービス協力医研修会
 6 月 1 7 日 第 2 回支部長・副支部長会
 6 月 2 2 日 三役会
 6 月 2 4 日 定例理事会

(慶弔関係)

(入会退会関係)

6 月 4 日 南区支部 山本一暁先生入会
 6 月 1 0 日 入会後面談(山本一暁先生)

(県歯理事会関係)

6 月 4 日 (県歯)理事会

(1)総務部(大井手理事)

6 月 2 日 休診レセプト点検
 ” (県歯)医療管理部小委員会
 6 月 3 日 定例委員会
 6 月 1 0 日 (県歯)医療管理部委員会
 ” 入会後面談(山本一暁先生)

(2)学術部(花岡理事)

6 月 1 2 日 定例委員会

(3)厚生部(横村理事)

5 月 3 0 日 広島県歯科医師協同組合第 44 回通常総代会
 6 月 8 日 健康ソフトボール大会運営委員会
 6 月 1 0 日 (県歯)福祉厚生・育成部 常任委員会
 6 月 1 6 日 定例委員会

(4)地域歯科保健部

5 月 2 8 日 後期高齢者歯科健診協力医および短期集中通所口腔ケアサービス協力医研修会
 5 月 3 0 日 広島県歯科医師協同組合総代会
 6 月 1 9 日 定例委員会

<地域保健>(土屋理事)

6 月 5 日 R C C ラジオ「元気じゃけんいきいきプロジェクト」
 6 月 6 日 第 159 回広島県歯科医師会定時代議員会
 6 月 9 日 (県歯)地域保健部常任委員会

<学校保健>(濱岡理事)

6 月 1 1 日 広島市との協議
 6 月 1 2 日 広島市西区地域保健対策協議会 第 1 回常任理事会・第 1 回理事会合同会
 6 月 1 9 日 広島市学校保健会第 2 回理事会及び表彰審査委員会

<地域連携>(中川理事)

6 月 2 日 第 1 回広島市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会
 ” 在宅医療に取り組む医療関係者(医師、歯科医師、薬剤師、看護師等)の裾野を広げるための普及・啓発(同行研修等)企画会議
 6 月 5 日 第 1 回広島市在宅医療介護推進委員会

(5)広報部(小島理事)

6 月 1 日 校正委員会(だより 6 月号)
 6 月 9 日 FMちゅーピー収録

FMちゅーピー(放送日)

7 月 1 日 「お食い初めについて」 八谷 文貴 氏
 7 月 1 5 日 「デジタル技術と職人技が調和」 河村 道彦 氏

(6)広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 不明
 ページビュー 不明
 会員サイト 訪問者 不明
 ページビュー 不明
 LINE 公式アカウント 登録者数 5 月 22 日 203 名

(7)特別委員会

(8)救急蘇生委員会

5月28日 救急蘇生委員会を廃止

(9)選挙管理委員会

(10)各部事業計画について

(11)歯科医療安全相談

6月8日 相談 ホワイトニングについて
(40~50歳代女性)

「協議事項」

(1)入会について(1名)

西区支部の小跡弘幸氏の入会について承認

(2)会費について(1名)

終身会員資格取得による会費額変更について1名承認

(3)クリスマスパーティーゲストについて

内容について協議・承認

(4)第119回定時総会について

内容について確認

(5)口腔機能実地指導料の施設基準に係る研修会について

内容について協議

(6)救急事案対応検討委員会の設置について

内容について協議

(7)その他

「その他」

・日本歯科医師会選挙人選出について

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

をお願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 小島将督

E-Mail: kojima.d.c@icloud.com



LINE 公式アカウント
友達募集中!

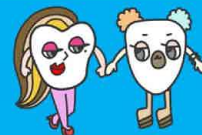


「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。

広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。



今までの配信内容

6月 6日配信 県歯会より「第34回広島県学校歯科保健研究大会」のご案内について

// 県歯会より多職種連携研修会のご案内について

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。